



= Kanaya Tea Festival =

「Tea Girls on their Way」「Floats on their Way」
「Kanaya Oigawa Kawagoshi Drums in the Streets」

第38回

「金谷茶まつり」のいわれ

「ト」みどり自慢の茶の芽もそろた〜ヨイヤサ茜だすきの手もそろた〜・ト」

金谷茶まつりは、金谷餅(井桁模様の紺紐)の着物に茜だすきの茶娘達が踊る茶娘道中をはじめ、屋台道中や金谷大井川越し太鼓が通りに繰り出し、茶業の発展と新茶の季節の到来を告げる金谷の町を挙げての大イベントです。

昔から「番茶が終わると茶農家や茶工場で働く人達は、「ほいろあげ」というお茶に感謝の意を込めた慰労会を行っていました。この「小さな感謝祭」が「金谷茶まつり」を始める契機になったといわれています。

金谷の基幹産業である茶業の更なる発展を願う昭和二十七年(一九五二年)から始められた金谷茶まつりは、年々華



豆茶(子供金の茶娘の呼称)

やかさを加え、今や茶処を象徴する一大イベントになりました。まつりのメインである茶娘道中は、かつて新茶の摘み取り時期になると茶農家の女性達が茶摘み衣装に身を包み、「トト」あれに見えるは茶摘みじゃないか、茜だすきに菅の笠・トト」と唄われるように、揃って茶畑に繰り出す様子を再現したものです。茶娘達が「金谷音頭」「茶娘おどり」「茶まつり囃子」「牧之原音頭」の茶処金谷を歌った曲や「ちゃっきり節」に合わせて踊る茶娘踊りは、伝統芸能として継承されています。このような茶娘による茶娘踊りは、国内で唯一のものであり、全国的にも注目されています。

Shizuoka Kanaya Tea

金谷茶 イメージキャラクター “かなちゃん”

金谷には、お茶の博物館や国の茶に関する研究機関、製茶機械メーカーが集積し、徳川家康ゆかりの志戸呂焼は、江戸時代の茶人大名である小堀遠州が好んだ七つの窯の一つです。金谷は、明治18年(1885年)の金谷茶業組合の成立を画期として、茶栽培、製茶業、茶売買、製茶機械生産が一体となった一大茶業地へと発展しました。金谷茶は、うま味と甘味を兼ね備えた深い味わいと香りのお茶です。金谷は、静岡県を代表する茶処の一つです。

- ### イベントのご案内
- *茶娘合同踊り 14日(土)15日(日) 13:15~14:45**
総勢1,000人の茶娘が、金谷駅前通りに約400mにずらりと並び観光客の目を楽しませてくれます。1,000人の茶娘は圧巻です。
 - *子供先導・伝令儀式 14日(土)・15日(日) 15:00~15:25**
各支部(六支部)の子供達が、将来の支部の中心メンバーになるために頑張ります。
 - *屋台正面付イベント 14日(土) 15:30~17:00**
6台の屋台が集結し、連続3回の屋台正面付が行われます。
 - *お囃子競演 15日(日) 15:00~16:00**
金谷大井川越し太鼓の屋台上で六支部のおはやし衆が腕前を披露します。
 - *屋台合同踊り 15日(日) 16:10~16:40**
2台の屋台の踊り子達が、同じ曲目を違う振付で踊り競い合います。これが3組行われます。
※いずれも実施場所は、金谷駅前通り十五軒交差点付近です。(金谷駅より徒歩約10分)

茶娘道中・茶娘合同踊り

茶娘道中は、10:00から12:00までJR金谷駅前通りなどで披露されます。金谷茶娘や豆茶(子供の金谷茶娘)が、「金谷音頭」や「茶娘おどり」などの曲目に合わせて華やかに踊りを披露します。呼び物は、茶娘合同踊りです。(イベント案内欄参照)
金谷茶娘と茶娘踊り(茶娘道中)は、「しまだ市民遺産」に認定されています。



屋台道中・屋台正面付

6台の屋台で行われる屋台道中は、それぞれ500人余の人達が、揃いの法被姿で勇ましい掛け声や華麗な踊りを披露しながら屋台を引き回します。呼び物は、「屋台正面付」です。2台の屋台が向き合い、道中長が口上を述べ合い、合図とともに「梃子合戦」で屋台の位置をずらして2台が無事すれ違おうと、見守る観光客から大きな拍手が沸き起こります。屋台道中は、両日16:00頃から21:00までJR金谷駅前通りなどで行われます。



金谷大井川川越し太鼓道中

金谷には昔から習わしとして正月に子供たちが、太鼓をたたいて競い合う遊びがありました。その力強く勇壮なリズムは、徳川家の陣太鼓がルーツとされています。伝統の正月太鼓の迫力を再現するため、昭和47年に「金谷大井川川越し太鼓保存会」が発足し、現在に至っています。
江戸時代の単純なリズムの他に、現代風にアレンジして力強い迫力が再現され、県内外で演奏されています。金谷大井川川越し太鼓は、島田市無形民俗文化財に指定されています。



おもてなし広場

金谷駅前や金谷南地域交流センターなどに設けた「おもてなし広場」では、金谷茶の販売や呈茶サービスコーナーが設けられるとともに手揉み製茶やミニ製茶機による実演、金谷の特産品や富山県水見市(姉妹都市)の海産物などの販売があります。また、スタンプラリーも行われ、素敵な賞品が当たる抽選があります。



臨時駐車場とシャトルバスのご案内
お客様の駐車場は**大井川河川敷(かなや大井川緑地公園)**にご用意いたします。そこから無料のシャトルバスが会場付近まで運行します。

<URL> 公式サイトにて茶まつり情報を連日配信!
当日は金谷茶まつり会場から**インターネットで生中継!**
<http://www.chamatsuri.com>